

「安全」と「環境保全」を両立する 輸送を行っています

宝酒造では、東西物流センターを拠点とし、受注を担う物流管理部門と配送を担うタカラ物流システム（株）とが連携して、全国に商品を輸送しています。効率的な配送やエコドライブによって、物流の重大な環境負荷であるCO₂やNO_x、SO_xの排出量削減に向けた活動を行っています。

安全運転とエコドライブの徹底を推進

タカラ物流システム（株）では、2003年に安全性優良事業所認定を受けたほか、2004年には物流サービスの品質向上のためISO9001の認証を取得しています（本社・関西支店で取得）。そして2004年12月からは、国土交通省が推進する「グリーン経営」認証の取得をめざして環境活動をスタートしました。（※2005年8月取得予定）。2005年3月に環境方針を定め、東西エリアごとにエコドライブ推進委員会を置いて、体制づくりや従業員への教育を行っています。

エコドライブについては、西エリアの全トラックに“エコドライブナビゲーションシステム”を搭載し、これまでのアイドリングストップや経済速度での走行に加え、燃費効率10%の改善を目標として活動しています。さらに、今後は車両をハイブリッド車や最新規制適合ディーゼル車に切り替えていくほか、毎日行う点検で黒煙の排出量が増加している場合は、車両交換を行っていくことをルール化しました。

※グリーン経営認証…国土交通省の外郭団体である交通エコロジー・モビリティ財団が認証機関となり、グリーン経営推進マニュアルに基づいて一定レベル以上の環境保全活動への取り組みをしている事業者に対して、審査の上認証・登録を行うもの。

輸送の効率化で環境保全とサービスを両立

配送拠点からお届け先に荷物を届ける際、帰りに荷物の乗っていない空のトラックを走らせることは、行きも帰りも荷物を載せて走る場合に比べて“物流効率が悪い”ということになります。宝酒造では、東西2カ所の物流センターを拠点に、高度な情報システムで最適な輸送手段と最適なルートを選択し、帰便の有効利用や長距離配送におけるモーダルシフト（鉄道輸送）の導入などによって車両台数を減らし、CO₂排出量の削減に努めています。

2000年10月からは北海道でサッポロビール株式会社と、2001年10月からは東北・北関東地区で灘・伏見の清酒メーカーと、2002年2月からは首都圏や北陸地方で清酒メーカーと共同配送を実施し物流の効率化に努めています。

また1998年から、従来使用していた木製パレットより耐久年数の長いプラスチックパレットを導入しています。



エコナビゲーションシステムを搭載したトラック

VOICE



エコドライブで燃費が大幅にアップしました

タカラ物流システム（株）
中村 政和

グループに分かれて楽しくエコドライブ活動をしています。私のグループは“4S(Speed・Signal・Sheetbelt・Sake)運転”を目標にし、5段階評価でチェックしてメンバーの意識を高めています。エコナビ運転の結果やエコ点検については掲示板で公開されるのでいい競争になっていますね。私はエコナビのおかげで燃費向上30%という成果を達成しました。

■物流におけるCO₂排出量

